

2025年度 認定試験ガイドライン

*睡眠障害国際分類第3版(ICSD第3版)に準拠

*AASMによる睡眠および随伴イベントの判定マニュアルは含まれる

1.睡眠の基礎的事項

1. 1. 睡眠調節の神経解剖学的知識
1. 2. 正常睡眠とそのバリエーション
1. 3. 発達・老化、性差(月経周期、妊娠、出産と更年期含む)と睡眠
1. 4. 夢体験の精神生理学
1. 5. 睡眠と身体機能(呼吸、循環、自律神経、筋活動、体温調節、内分泌、代謝などを含む)
1. 6. 生体リズム機構の基礎的知識
 1. 6. 1. 概日リズムと同調機構
 1. 6. 2. 睡眠調節の時間生物学的モデル
 1. 6. 3. 認知機能・疲労感や眠気の日内変動
 1. 6. 4. 仕事のスケジュール
1. 7. 環境と睡眠(気候、音、光などを含む)
1. 8. 急性的・慢性的睡眠不足の心身に及ぼす影響
1. 9. 睡眠衛生の知識
1. 10. 睡眠・睡眠障害に関する疫学(社会学的事項、サマータイムも含む)

2.睡眠評価のための問診

2. 1. 発症前の生活習慣
2. 2. 身体疾患の評価
2. 3. 精神疾患の評価
2. 4. 服用薬物の評価
 2. 4. 1. 睡眠障害作用あるいは睡眠薬拮抗作用を有する薬剤
 2. 4. 2. 睡眠薬の効果を増強・延長させる薬剤
2. 5. 睡眠衛生
 2. 5. 1. 現在の生活・睡眠習慣(含む昼寝・入眠儀式)
 2. 5. 2. 嗜好品歴
 2. 5. 3. 睡眠環境
 2. 5. 4. メディア接触
 2. 5. 5. 食事習慣

3.睡眠障害の症候総論

3. 1. ICSD第3版に基づく睡眠障害の診断と評価法・鑑別
 3. 1. 1. 不眠症状(general criteria for insomniaも含む)
 3. 1. 2. 睡眠の過剰・日中の眠気
 3. 1. 3. いびき、呼吸障害
 3. 1. 4. 睡眠のタイミングに関連した症状(概日リズムの異常)
 3. 1. 5. 睡眠に関連した運動症状
 3. 1. 6. 睡眠に関連した異常行動
 3. 1. 7. 睡眠に関連したその他の徴候(夜尿、いびき、あえぎ、歯ぎしり、うめきなど)
3. 2. 小児の睡眠障害総論
3. 3. 睡眠障害の身体にもたらす影響
3. 4. 睡眠障害の心理的背景と精神心理面への影響
3. 5. 精神疾患と睡眠障害(気分障害、不安性障害、認知症、統合失調症など)

4.治療学概論

4. 1. 薬物療法総論
 4. 1. 1. 睡眠薬
 4. 1. 1. 1. 睡眠薬の作用
 4. 1. 1. 2. 睡眠薬の体内動態
 4. 1. 1. 3. 副作用、耐性と依存
 4. 1. 1. 4. 選択法
 4. 1. 2. 精神刺激薬

- 4.1.2.1. 作用機序
- 4.1.2.2. 体内動態
- 4.1.2.3. 適応
- 4.1.2.4. 副作用.耐性と依存
- 4.1.2.5. 選択法
- 4.1.2.6. リタリン流通管理委員会
- 4.1.2.7. リタリン依存者の特性
- 4.1.3. ドパミン作動薬
 - 4.1.3.1. 抗うつ薬
 - 4.1.3.2. 抗けいれん薬
 - 4.1.3.3. その他(含む漢方)
- 4.2. 睡眠関連呼吸障害群の治療総論
 - 4.2.1. 鼻腔持続陽圧呼吸
 - 4.2.1.1. 適応基準
 - 4.2.1.2. 作用機序と副作用
 - 4.2.1.3. ダウンロードデータ(コンプライアンスデータ)の理解と管理
 - 4.2.1.4. 患者教育
 - 4.2.2. 口腔内装置
 - 4.2.2.1. 適応基準
 - 4.2.2.2. 作用機序と副作用
 - 4.2.3. 外科的治療
 - 4.2.3.1. 適応基準
 - 4.2.3.2. 作用機序と副作用
 - 4.2.4. NIPPVその他
 - 4.2.4.1. 慢性呼吸不全に対する適応基準と適応疾患
 - 4.2.4.2. 患者教育
 - 4.2.5. 各適応基準に達しない方への対応
- 4.3. 適切な睡眠衛生の指導
- 4.4. 時間生物学的治療法
 - 4.4.1. 時間療法
 - 4.4.2. 高照度光療法
 - 4.4.3. 社会的同調因子の強化
 - 4.4.4. メラトニン
 - 4.4.5. 時間療法
- 4.5. 認知行動療法

5.睡眠評価のための検査法

- 5.1. 終夜睡眠ポリグラフィ (PSG)
 - 5.1.1. 検査環境.必要な設備と機器類
 - 5.1.2. 検査前準備(患者情報の収集.検査オーダの妥当性評価)
 - 5.1.3. 機器の消毒・感染症対策
 - 5.1.4. 装置の機械的特性(フィルター.サンプリング.AID分解能など)
 - 5.1.5. センサ.トランスデューサの特性
 - 5.1.6. 装着方法(10-20法など)
 - 5.1.7. 記録方法(電位調整.キャリブレーションを含む)
 - 5.1.8. 観察方法(モニタリング)
 - 5.1.9. アーチファクト処理とトラブルシューティング
 - 5.1.10. 判定とスコアリング
 - 5.1.11. レポート作成
 - 5.1.12. 睡眠時呼吸障害での特殊検査の意義と方法(PtCO₂.食道内圧など)
 - 5.1.13. CPAP適正圧評価
 - 5.1.14. 睡眠脳波の二次解析(REM密度.パワースペクトル解析.CAPなど)
 - 5.1.15. 睡眠脳波とnormal variant
 - 5.1.16. データファイリングシステム
 - 5.1.17. プライバシー保護
 - 5.1.18. 沿い寝 (bed sharing)する養育者への対処(小児の場合)
- 5.2. PSG時の救急合併症の検出と対応

- 5. 2. 1. 感染症対策
- 5. 2. 2. 心電図異常の検出と対応
- 5. 2. 3. てんかんへの対応
- 5. 2. 4. 低酸素血症への対応
- 5. 2. 5. 心・脳血管障害への対応
- 5. 2. 6. 救命救急処置
- 5. 2. 7. 落下事故対策(特に乳幼児)
- 5. 3. 眠気の客観的評価
 - 5. 3. 1. 反復睡眠潜時検査(MSLT)
 - 5. 3. 2. 覚醒維持検査(MWT)
 - 5. 3. 3. 覚醒維持機能を評価する精神作業機能検査(PVTなど)
- 5. 4. 睡眠障害の自覚的(主観的)評価法
 - 5. 4. 1. ESS
 - 5. 4. 2. ピッツバーグ睡眠質問表.St.Mary睡眠障害スケールなど
 - 5. 4. 3. 睡眠日誌
 - 5. 4. 4. その他(朝型夜型スケール、Visual Analogue Scaleなど)
- 5. 5. 補助的検査
 - 5. 5. 1. パルスオキシメーター
 - 5. 5. 2. 簡易式呼吸循環モニター
 - 5. 5. 3. アクチグラフィ
 - 5. 5. 4. 深部体温記録(生体リズム計測)
 - 5. 5. 5. メラトニンその他の生化学的リズム指標
 - 5. 5. 6. オレキシン
 - 5. 5. 6. 食道内圧計測
- 5. 6. 上気道形態の把握
 - 5. 6. 1. セファログラム
 - 5. 6. 2. ファイバースコープ(覚醒時・睡眠負荷時)
 - 5. 6. 3. その他

6.睡眠障害の疾患各論

- 6. 1. 不眠症
 - 6. 1. 1. 慢性不眠障害
 - 6. 1. 2. 短期不眠障害
 - 6. 1. 3. その他の不眠障害
 - 6. 1. 4. 孤発症状と正常範囲の異型
 - 6. 1. 4. 1 臥床時間過剰
 - 6. 1. 4. 2 短時間睡眠者
- 6. 2. 睡眠関連呼吸障害群
 - 6. 2. 1. 閉塞性睡眠時無呼吸障害群
 - 6. 2. 1. 1 閉塞性睡眠時無呼吸、成人
 - 6. 2. 1. 2 閉塞性睡眠時無呼吸、小児
 - 6. 2. 2. 中枢性睡眠時無呼吸症候群
 - 6. 2. 2. 1 チェーンストークス呼吸を伴う中枢性睡眠時無呼吸
 - 6. 2. 2. 2 チェーンストークス呼吸を伴わない身体疾患による中枢性無呼吸
 - 6. 2. 2. 3 高地周期性呼吸による中枢性睡眠時無呼吸
 - 6. 2. 2. 4 薬物または物質による中枢性睡眠時無呼吸
 - 6. 2. 2. 5 原発性中枢性睡眠時無呼吸
 - 6. 2. 2. 6 乳児期の原発性睡眠時無呼吸
 - 6. 2. 2. 7 未熟性に伴う中枢性睡眠時無呼吸
 - 6. 2. 2. 8 治療時出現中枢性睡眠時無呼吸
 - 6. 2. 3. 睡眠関連低換気障害群
 - 6. 2. 3. 1 肥満低換気症候群
 - 6. 2. 3. 2 先天性中枢性肺胞低換気症候群
 - 6. 2. 3. 3 視床下部機能障害に伴う遅発性中枢性低換気
 - 6. 2. 3. 4 特発性中枢性肺胞低換気
 - 6. 2. 3. 5 薬物または物質による睡眠関連低換気
 - 6. 2. 3. 6 身体疾患による睡眠関連低換気
 - 6. 2. 4. 睡眠関連低酸素血症障害

- 6. 2. 4. 1 睡眠関連低酸素血症
- 6. 2. 4. 2 孤発症状と正常範囲の異型 (いびき)
- 6. 2. 4. 3 孤発症状と正常範囲の異型 (カタスレニア)

- 6. 3 中枢性過眠症群
 - 6. 3. 1. ナルコレプシータイプ1
 - 6. 3. 2. ナルコレプシータイプ2
 - 6. 3. 3. 特発性過眠症
 - 6. 3. 4. クライネ-レビン症候群
 - 6. 3. 5. 身体疾患による過眠症
 - 6. 3. 6. 薬物または物質による過眠症
 - 6. 3. 7. 精神疾患に関連する過眠症
 - 6. 3. 8. 睡眠不足症候群
 - 6. 3. 9. 孤発症状と正常範囲の異型(長時間睡眠者)

- 6. 4 概日リズム睡眠・覚醒障害群
 - 6. 4. 1. 睡眠・覚醒相後退障害
 - 6. 4. 2. 睡眠・覚醒相前進障害
 - 6. 4. 3. 不規則睡眠・覚醒リズム障害
 - 6. 4. 4. 非24時間睡眠・覚醒リズム障害
 - 6. 4. 5. 交代勤務障害
 - 6. 4. 6. 時差障害
 - 6. 4. 7. 特定不能な概日睡眠・覚醒障害

- 6. 5 睡眠時随伴症群
 - 6. 5. 1. ノンレム関連睡眠時随伴症群
 - 6. 5. 1. 1. (ノンレム睡眠からの)覚醒障害群
 - 6. 5. 1. 1. 1. 錯乱性覚醒
 - 6. 5. 1. 1. 2. 睡眠時遊行症
 - 6. 5. 1. 1. 3. 睡眠時驚愕症
 - 6. 5. 1. 2. 睡眠関連摂食障害
 - 6. 5. 2. レム睡眠関連睡眠時随伴症群
 - 6. 5. 2. 1. レム睡眠行動障害
 - 6. 5. 2. 2. 反復性孤発性睡眠麻痺
 - 6. 5. 2. 3. 悪夢障害
 - 6. 5. 3. その他の睡眠時随伴症群
 - 6. 5. 3. 1. 頭内爆発音症候群
 - 6. 5. 3. 2. 睡眠関連幻覚
 - 6. 5. 3. 3. 睡眠時遺尿症
 - 6. 5. 3. 4. 身体疾患による睡眠時随伴症
 - 6. 5. 3. 5. 薬物または物質による睡眠時随伴症
 - 6. 5. 3. 6. 特定不能な睡眠時随伴症
 - 6. 5. 4. 1. 孤発症状と正常範囲の異型(寝言)

- 6. 6 睡眠関連運動障害群
 - 6. 6. 1. むずむず脚症候群
 - 6. 6. 2. 周期性四肢運動障害
 - 6. 6. 3. 睡眠関連下肢こむらがえり
 - 6. 6. 4. 睡眠関連歯ぎしり
 - 6. 6. 5. 睡眠関連律動性運動障害
 - 6. 6. 6. 乳幼児期の良性睡眠時ミオクローヌス
 - 6. 6. 7. 入眠時固有脊髄ミオクローヌス
 - 6. 6. 8. 身体疾患による睡眠関連運動障害
 - 6. 6. 9. 薬物または物質による睡眠関連運動障害
 - 6. 6. 10. 特定不能な睡眠関連運動障害
 - 6. 6. 11. 孤発症状と正常範囲の異型
 - 6. 6. 11. 1. 過度断片的ミオクローヌス
 - 6. 6. 11. 2. 入眠時足部振戦および睡眠時交替性下肢筋賦活

6.6.11.3. 睡眠時ひきつけ(睡眠時びくつき)

6.7 その他の睡眠障害

- 6.7.1. 致死性家族性不眠症
- 6.7.2. 睡眠関連てんかん
- 6.7.3. 睡眠関連頭痛
- 6.7.4. 睡眠関連喉頭痙攣
- 6.7.5. 睡眠関連胃食道逆流症
- 6.7.6. 睡眠関連心筋虚血

6.8 疾患にともなう睡眠障害群

- 6.8.1. 脳血管障害
- 6.8.2. 認知症
- 6.8.3. パーキンソン病
- 6.8.4. 多系統萎縮症
- 6.8.5. 筋萎縮性側索硬化症
- 6.8.6. 進行性筋ジストロフィー
- 6.8.7. 筋強直性ジストロフィー
- 6.8.10. 発達障害等(広汎性発達障害,注意欠陥多動性障害,精神遅滞など)
- 6.8.11. 染色体異常(ダウン症候群,ブラーダービリー症候群,アンジェルマン症候群,スミスマジェニス症候群など)
- 6.8.12. その他(トレット症候群,軟骨無形成症,先天奇形症候群,慢性疲労症候群,夜泣きなど)

2025年度 歯科医師 専門医試験ガイドライン（歯科専門問題）

歯科関連

いびき、閉塞性睡眠時無呼吸障害群(上気道抵抗症候群含む)(OSAS)

- 1) 総論 顎顔面形態とOSAS発症
 - 硬組織(上下顎骨、舌骨)の評価
 - 軟組織(舌、軟口蓋)の評価
 - 解剖学的バランス理論
 - 歯科的OSAS治療法の治療原理
- 2) 診断 問診
- 視診
- 画像解析(セファロメトリー、その他)
- その他の検査・診断法(簡易検査、食道内圧等)
- PSGLレポート解読

OSASの歯科的治療

- 1) 口腔内装置治療
 - 1 歴史
 - 2 国内外の情勢
 - 3 口腔内装置の種類
 - 4 AASMのPractice parameter 2005
 - 5 適応と禁忌
 - 6 装置の選択
 - 7 下顎位タイトレーション
 - 8 治療効果
 - 9 コンプライアンス
 - 10 副作用
 - 11 予後
- 2) 顎顔面外科治療
 - 1 世界的情勢
 - 2 硬組織・軟組織に対するアプローチ
 - 3 適応と禁忌
 - 4 術式
 - 5 副作用
 - 6 予後と再発
 - 7 他のOSAS治療法との比較
- 3) 歯科矯正治療
 - 1 顎顔面形態とOSAS予防
 - 2 顎顔面の成長発育
 - 3 歯列弓、舌とOSAS発症
 - 4 下顎前方成長誘導
 - 5 歯列弓拡大
 - 6 適応

睡眠関連ブラキシズム

- 1 定義
- 2 病因
- 3 発症率
- 4 臨床症状
- 5 検査法
- 6 診断
- 7 治療と管理
- 8 予後